

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2029年11月15日まで（2019年11月15日設定）	
運用方針	米国IPOニューステージ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式に投資を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。	
主要運用対象	ベビーファンド	米国IPOニューステージ・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

## 運用報告書（全体版）

米国IPOニューステージ・  
ファンド＜為替ヘッジあり＞  
（資産成長型）

第5期（決算日：2024年11月15日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、お手持ちの「米国IPOニューステージ・ファンド＜為替ヘッジあり＞（資産成長型）」は、去る11月15日に第5期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			株 組入 比率	株 先物 比率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金			
(設定日)	円			円		%	百万円
2019年11月15日	10,000			—	—	—	2,500
1期(2020年11月16日)	18,446			10	84.6	93.8	13,006
2期(2021年11月15日)	24,441			10	32.6	95.4	18,560
3期(2022年11月15日)	10,236			0	△58.1	94.4	6,184
4期(2023年11月15日)	10,374			0	1.3	95.6	5,574
5期(2024年11月15日)	15,220			10	46.8	95.9	6,349

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
				騰 落 率	率		
	(期 首)		円		%	%	%
	2023年11月15日		10,374		—	95.6	—
	11月末		10,765		3.8	93.7	—
	12月末		11,879		14.5	93.5	—
	2024年1月末		11,924		14.9	93.6	—
	2月末		12,922		24.6	95.2	—
	3月末		12,497		20.5	94.5	—
	4月末		11,833		14.1	95.9	—
	5月末		11,467		10.5	93.5	—
	6月末		11,917		14.9	95.1	—
	7月末		10,974		5.8	92.5	—
	8月末		11,787		13.6	95.2	—
	9月末		12,748		22.9	93.7	—
	10月末		14,060		35.5	94.9	—
	(期 末)						
	2024年11月15日		15,230		46.8	95.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

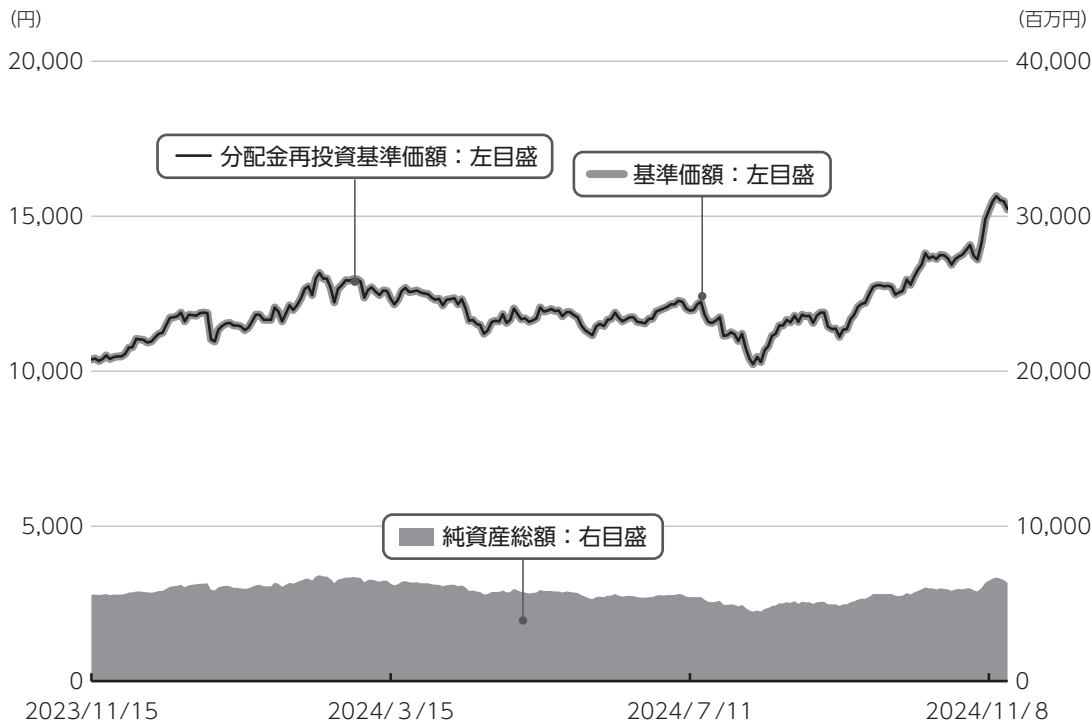
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第5期：2023年11月16日～2024年11月15日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第5期首	10,374円
第5期末	15,220円
既払分配金	10円
騰落率	46.8%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ46.8% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

### > 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

組入銘柄 (PALANTIR TECHNOLOGIES INC-AやVERTIV HOLDINGS CO-Aなど) の値上がりが、基準価額の上昇要因となりました。

第5期：2023年11月16日～2024年11月15日

## 投資環境について

### ▶ 米国株式市況

**米国株式市況は、上昇しました。**

期間の初めから2024年8月にかけて、株価は上昇基調となりました。4月には消費者物価指数（CPI）の上昇率が市場予想を上回り長期金利が上昇したことや、7月には2024年の年初来の株式市況を牽引していた大型ハイテク株の調整が入ったことなどから下落する局面がありました。しかし、全体としてはCPIなどの

経済指標はインフレ鈍化がうかがえる結果となったことや、半導体大手エヌビディアをはじめとする企業の決算内容が好感されたことから、株価は上昇しました。その後も、9月中旬の米連邦公開市場委員会（FOMC）において大幅な利下げが決定されたことや、底堅い経済指標、堅調な企業業績を背景に景気のソフトランディング（軟着陸）期待が高まったことなどから株価は上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 米国IPOニュースステージ・ファンド<為替ヘッジあり>（資産成長型）

米国IPOニュースステージ・マザーファンド受益証券を通じて米国株式に投資を行いました。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかりました。

### ▶ 米国IPOニュースステージ・マザーファンド

新技術やビジネスモデルなどに着目し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を中心に選別投資を行いました。

組入銘柄数は40～50銘柄程度での推移と

なりました。

金融政策や景気動向への不透明感が懸念材料となりましたが、当ファンドの投資対象企業は相対的にマクロ動向の影響を受けにくく、独自の技術を活かし中長期的に持続的な成長が可能であると判断したため、個別企業の成長性に注目した投資を継続しました。

企業への取材を基にした業績見通しや株価水準を勘案し、銘柄の入れ替えを行いました。

また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。

収益拡大余地が限定的と判断した

「CLOUDFLARE INC - CLASS A」や「PINTEREST INC- CLASS A」などの売却を行う一方で、販売者と顧客をつなげる食品配達アプリケーションを活用してレストラン食品配達サービスを行う「DOORDASH INC - A」や、様々なコ

ミュニティをベースにソーシャルネットワーク・プラットフォームを提供する「REDDIT INC-CL A」などのより成長性が高いと判断した銘柄を新規に組み入れました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第5期
	2023年11月16日～2024年11月15日
当期分配金（対基準価額比率）	10（0.066%）
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,740

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ 米国IPOニューステージ・ファンド ＜為替ヘッジあり＞（資産成長型）

米国IPOニューステージ・マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

### ▶ 米国IPOニューステージ・マザー ファンド

インフレが鎮静化し、利下げのペースについては不透明感が残るものの、少なくとも金融政策が利下げ方向へと転換したことは確かだと考えます。同時に、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、景気のソフトランディングの可能性が高まり、株式市況を取り巻く環境は好転しつつあると判断します。一方で、

2024年の年初来の米国株式市況上昇を受け、利益確定と見られる売りも見られ、需給面から市況の重荷となると考えます。当面は、このような好悪材料が拮抗する状況が予想され、下値は限定的であるものの、現行水準からの上値もまた重いと予想しています。

当ファンドは、株式公開（IPO）から概ね5年以内の中型以上の米国株式への投資を基本とし、新技術やビジネスモデルなどに着目し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を選定します。ソフトウェアや小売、バイオの分野において優れた企業が多いため特に注目し、銘柄選定に努める方針です。今後の金融政策や景気動向についての不透明感が完全に払拭されたわけではありませんが、投資対象銘柄の中長期的な成長余地は依然として大きいと判断します。



2023年11月16日～2024年11月15日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	215	1.783	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(106)	(0.878)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(106)	(0.878)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 3 )	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	24	0.200	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 24 )	(0.200)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 0 )	(0.002)	
(d) その他費用	2	0.020	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.017)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	241	2.005	

期中の平均基準価額は、12,041円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

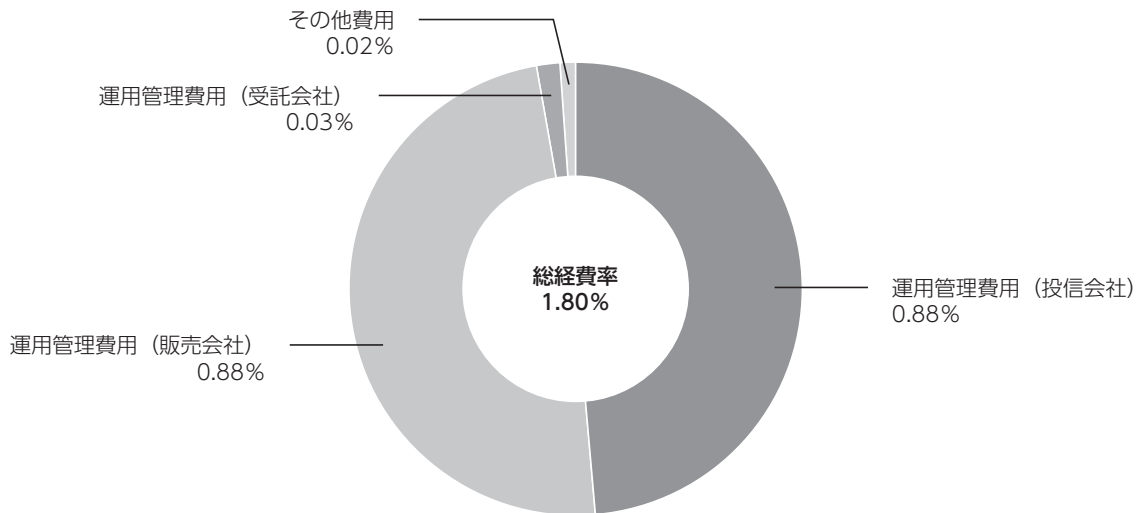
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.80%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年11月16日～2024年11月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
米国IPOニューステージ・マザーファンド	千口 884,271	千円 1,710,380	千口 1,843,771	千円 3,873,650

○株式売買比率

(2023年11月16日～2024年11月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	米国IPOニューステージ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	47,436,232千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	28,412,128千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.66

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月16日～2024年11月15日)

利害関係人との取引状況

<米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型) >

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 117,371	百万円 93,212	% 79.4	百万円 117,348	百万円 93,836	% 80.0

<米国IPOニューステージ・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 11,583	百万円 1,863	% 16.1

平均保有割合 19.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2024年11月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国IPOニューステージ・マザーファンド	千口 3,243,435	千口 2,283,936	千円 6,378,121

○投資信託財産の構成

(2024年11月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
米国IPOニューステージ・マザーファンド	千円 6,378,121	% 95.3
コール・ローン等、その他	314,234	4.7
投資信託財産総額	6,692,355	100.0

(注) 米国IPOニューステージ・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(32,209,018千円)の投資信託財産総額(32,827,271千円)に対する比率は98.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=156.84円			
-----------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,819,942,978
コール・ローン等	203,493,363
米国IPOニューステージ・マザーファンド(評価額)	6,378,121,025
未収入金	6,238,327,400
未収利息	1,190
(B) 負債	6,470,657,419
未払金	6,231,485,895
未払収益分配金	4,171,538
未払解約金	185,916,935
未払信託報酬	48,989,659
その他未払費用	93,392
(C) 純資産総額(A-B)	6,349,285,559
元本	4,171,538,050
次期繰越損益金	2,177,747,509
(D) 受益権総口数	4,171,538,050口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,220円

<注記事項>

- ①期首元本額 5,373,369,286円  
 期中追加設定元本額 854,254,473円  
 期中一部解約元本額 2,056,085,709円  
 また、1口当たり純資産額は、期末15,220円です。

②分配金の計算過程

項 目	2023年11月16日～ 2024年11月15日
費用控除後の配当等収益額	10,111,136円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	2,384,194,707円
分配準備積立金額	1,256,067,884円
当ファンドの分配対象収益額	3,650,373,727円
1万口当たり収益分配対象額	8,750円
1万口当たり分配金額	10円
収益分配金金額	4,171,538円

○損益の状況 (2023年11月16日～2024年11月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	117,017
受取利息	120,718
支払利息	△ 3,701
(B) 有価証券売買損益	2,004,100,011
売買益	4,029,201,757
売買損	△2,025,101,746
(C) 信託報酬等	△ 103,817,884
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,900,399,144
(E) 前期繰越損益金	△2,506,247,712
(F) 追加信託差損益金	2,787,767,615
(配当等相当額)	( 2,384,031,810)
(売買損益相当額)	( 403,735,805)
(G) 計(D+E+F)	2,181,919,047
(H) 収益分配金	△ 4,171,538
次期繰越損益金(G+H)	2,177,747,509
追加信託差損益金	2,787,767,615
(配当等相当額)	( 2,384,194,707)
(売買損益相当額)	( 403,572,908)
分配準備積立金	1,262,007,482
繰越損益金	△1,872,027,588

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	10円
----------------	-----

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

\*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

### 【お知らせ】

東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。

(2024年11月5日)

## 米国 IPO ニューステージ・マザーファンド

### 《第10期》決算日2024年11月15日

[計算期間：2024年5月16日～2024年11月15日]

「米国 IPO ニューステージ・マザーファンド」は、11月15日に第10期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として米国の株式に投資を行います。株式公開（IPO）から概ね5年以内の中型以上の株式（上場予定を含みます。以下同じ。）への投資を基本とします。投資銘柄の継続保有に加え、市場動向等により、それ以外の株式へ投資を行うことがあります。なお、当ファンドにおける中型以上の株式とは、株式時価総額が30億米ドル以上の株式をいいます。株式への投資にあたっては、新技術やビジネスモデル等に着目し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を選定します。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		株組入比率	株先物比率	純総資産額
		期騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
6期(2022年11月15日)	14,594		0.0	95.3	—	29,282
7期(2023年5月15日)	13,491	△	7.6	96.8	—	25,452
8期(2023年11月15日)	17,030		26.2	96.5	—	28,533
9期(2024年5月15日)	20,734		21.7	94.8	—	30,590
10期(2024年11月15日)	27,926		34.7	95.5	—	32,246

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
				騰	落		
	(期 首)		円		%	%	%
	2024年	5月15日	20,734	—	—	94.8	—
	5月末		20,395	△	1.6	94.4	—
	6月末		21,888		5.6	95.2	—
	7月末		19,216	△	7.3	93.8	—
	8月末		19,731	△	4.8	95.4	—
	9月末		21,155		2.0	94.7	—
	10月末		25,212		21.6	95.2	—
	(期 末)						
	2024年	11月15日	27,926		34.7	95.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ34.7%の上昇となりました。

基準価額等の推移



## ●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

組入銘柄(PALANTIR TECHNOLOGIES INC-AやREDDIT INC-CL Aなど)の値上がりや、小幅ながら米ドルが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎米国株式市況

- ・米国株式市況は、上昇しました。
- ・期間の初めから2024年8月にかけて、2024年の年初来の株式市況を牽引していた大型ハイテク株の調整が入り下落する局面があったものの、消費者物価指数(CPI)などインフレ鈍化を示す経済指標から長期金利が低下し、株価は上昇しました。その後は、9月中旬の米連邦公開市場委員会(FOMC)において大幅な利下げが決定されたことや、底堅い経済指標、堅調な企業業績を背景に景気のソフトランディング(軟着陸)期待が高まったことから株価は上昇し、期間の初めに比べ上昇して終わりました。



## ◎為替市況

- ・期間の初めに比べ、円安・米ドル高となりました。
  - ・日米の長期金利差が大きく上下したことにより、米ドル円相場は大きく変動しましたが、期間の初めに比べわずかに円安・米ドル高が進みました。
- 当該投資信託のポートフォリオについて
- ・新技術やビジネスモデルなどに着目し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を中心に選別投資を行いました。
  - ・組入銘柄数は、40～45銘柄程度での推移となりました。
  - ・金融政策や景気動向への不透明感が懸念材料となりましたが、当ファンドの投資対象企業は相対的にマクロ動向の影響を受けにくく、独自の技術を活かし中長期的に持続的な成長が可能であると判断したため、個別企業の成長性に注目した投資を継続しました。
  - ・企業への取材を基にした業績見通しや株価水準を勘案し、銘柄の入れ替えを行いました。
  - ・また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
  - ・収益拡大余地が限定的と判断した「CLOUDFLARE INC - CLASS A」や「PINTEREST INC- CLASS A」などの売却を行う一方で、統合データ管理会社である「RUBRIK INC-A」や、地中海料理のファストカジュアルレストランを運営する「CAVA GROUP INC」などのより成長性が高いと判断した銘柄を新規に組み入れました。

## ○今後の運用方針

- ・インフレが鎮静化し、利下げのペースについては不透明感が残るものの、少なくとも金融政策が利下げ方向へと転換したことは確かだと考えます。同時に、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、景気のソフトランディングの可能性が高まり、株式市況を取り巻く環境は好転しつつあると判断します。一方で、2024年の年初来の米国株式市況上昇を受け、利益確定と見られる売りも見られ、需給面から市況の重荷となると考えます。当面は、このような好悪材料が拮抗する状況が予想され、下値は限定的であるものの、現行水準からの上値もまた重いと予想しています。
- ・当ファンドは、株式公開（IPO）から概ね5年以内の中型以上の米国株式への投資を基本とし、新技術やビジネスモデルなどに着目し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を選定します。ソフトウェアや小売、バイオの分野において優れた企業が多いため特に注目し、銘柄選定に努める方針です。金融政策や景気動向についての不透明感は完全には払拭されておりませんが、投資対象銘柄の中長期的な成長余地は大きいと判断します。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年5月16日～2024年11月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 23 (23)	% 0.107 (0.107)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	1 ( 1 ) ( 0 )	0.006 (0.006) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	24	0.115	
期中の平均基準価額は、21,400円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年5月16日～2024年11月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 13,768	千アメリカドル 56,739	百株 16,464	千アメリカドル 103,305

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2024年5月16日～2024年11月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	24,343,610千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	26,548,915千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.91

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年11月15日現在)

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
ZSCALER INC	602	410	8,558	1,342,381	ソフトウェア・サービス
MONGODB INC	14	—	—	—	ソフトウェア・サービス
UBER TECHNOLOGIES INC	1,953	757	5,408	848,191	運輸
ALLOGENE THERAPEUTICS INC	1,389	1,389	341	53,591	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CORTEVA INC	282	—	—	—	素材
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	431	281	9,676	1,517,664	ソフトウェア・サービス
DATADOG INC - CLASS A	381	83	1,090	171,091	ソフトウェア・サービス
PINTEREST INC- CLASS A	1,458	—	—	—	メディア・娯楽
MODERNA INC	112	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CLOUDFLARE INC - CLASS A	968	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	1,169	409	4,040	633,649	金融サービス
VERTIV HOLDINGS CO-A	1,018	545	6,596	1,034,537	資本財
SNOWFLAKE INC-CLASS A	437	437	5,649	886,004	ソフトウェア・サービス
JFROG LTD	1,367	1,003	3,158	495,370	ソフトウェア・サービス
UNITY SOFTWARE INC	361	146	275	43,141	ソフトウェア・サービス
VONTIER CORP	496	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	2,713	1,853	10,966	1,719,915	ソフトウェア・サービス
DOORDASH INC - A	743	518	9,002	1,412,005	消費者サービス
AIRBNB INC-CLASS A	331	—	—	—	消費者サービス
AFFIRM HOLDINGS INC	584	1,327	7,060	1,107,442	金融サービス
REVOLUTION MEDICINES INC	—	310	1,778	278,935	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALLEGRO MICROSYSTEMS INC	555	1,314	2,605	408,672	半導体・半導体製造装置
MONDAY.COM LTD	378	271	7,287	1,142,922	ソフトウェア・サービス
CONFLUENT INC-CLASS A	611	611	1,743	273,400	ソフトウェア・サービス
DUOLINGO	189	189	6,096	956,186	消費者サービス
SENTINELONE INC -CLASS A	3,122	2,042	5,587	876,285	ソフトウェア・サービス
FLYWIRE CORP-VOTING	813	813	1,769	277,591	金融サービス
APPROVIN CORP-CLASS A	674	148	4,210	660,367	ソフトウェア・サービス
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	—	128	3,569	559,785	金融サービス
ROBINHOOD MARKETS INC - A	—	1,240	3,995	626,619	金融サービス
SOFI TECHNOLOGIES INC	859	2,762	3,701	580,477	金融サービス
CONSTELLATION ENERGY	132	355	8,000	1,254,875	公益事業
DIGITALOCEAN HOLDINGS INC	272	272	1,043	163,602	ソフトウェア・サービス
DRAFTKINGS INC-CL A	—	1,025	4,216	661,370	消費者サービス
GITLAB INC-CL A	1,060	682	4,170	654,090	ソフトウェア・サービス
TOAST INC-CLASS A	—	604	2,437	382,335	金融サービス
SAMSARA INC-CL A	2,064	1,260	6,414	1,006,075	ソフトウェア・サービス
PROCORE TECHNOLOGIES INC	151	—	—	—	ソフトウェア・サービス
MOBILEYE GLOBAL INC-A	478	478	740	116,127	自動車・自動車部品
NEXTRACKER INC-CL A	175	175	695	109,129	資本財
ON HOLDING AG-CLASS A	619	1,061	5,660	887,782	耐久消費財・アパレル
DOUBLEVERIFY HOLDINGS INC	310	310	621	97,483	ソフトウェア・サービス
VAXCYTE INC	—	271	2,511	393,923	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CREDO TECHNOLOGY GROUP HOLDI	1,958	688	2,882	452,125	半導体・半導体製造装置
MAPLEBEAR INC	1,733	1,733	7,439	1,166,853	生活必需品流通・小売り
KLAVIYO INC-A	667	—	—	—	ソフトウェア・サービス

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
INFORMATICA INC - CLASS A	1,465	1,465	3,700	580,400	ソフトウェア・サービス	
CAVA GROUP INC	—	438	6,059	950,339	消費者サービス	
REDDIT INC-CL A	518	878	11,579	1,816,060	メディア・娯楽	
ASTERA LABS INC	330	388	3,433	538,496	半導体・半導体製造装置	
RUBRIK INC-A	—	1,505	6,697	1,050,396	ソフトウェア・サービス	
TEMPUS AI INC	—	672	3,805	596,860	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
合 計	株 数 ・ 金 額	35,943	33,246	196,280	30,784,563	
	銘柄数 < 比率 >	43	43	—	< 95.5% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の < > 内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2024年11月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	30,784,563	93.8
コール・ローン等、その他	2,042,708	6.2
投資信託財産総額	32,827,271	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (32,209,018千円) の投資信託財産総額 (32,827,271千円) に対する比率は98.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=156.84円			
------------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	33,217,786,276
コール・ローン等	2,042,703,696
株式(評価額)	30,784,563,964
未収入金	390,515,000
未収利息	3,616
(B) 負債	971,322,950
未払金	391,922,950
未払解約金	579,400,000
(C) 純資産総額(A-B)	32,246,463,326
元本	11,547,168,428
次期繰越損益金	20,699,294,898
(D) 受益権総口数	11,547,168,428口
1万口当たり基準価額(C/D)	27,926円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 14,753,912,398円  
 期中追加設定元本額 734,801,930円  
 期中一部解約元本額 3,941,545,900円  
 また、1口当たり純資産額は、期末2.7926円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジなし>(資産成長型)	6,573,802,874円
米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジあり>(資産成長型)	2,283,936,484円
米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	1,942,372,046円
米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	747,057,024円
合計	11,547,168,428円

## ○損益の状況 (2024年5月16日~2024年11月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	28,297,001
受取配当金	5,076,922
受取利息	23,220,079
(B) 有価証券売買損益	9,008,746,850
売買益	10,415,234,188
売買損	△ 1,406,487,338
(C) 保管費用等	△ 1,814,008
(D) 当期損益金(A+B+C)	9,035,229,843
(E) 前期繰越損益金	15,837,011,085
(F) 追加信託差損益金	739,388,070
(G) 解約差損益金	△ 4,912,334,100
(H) 計(D+E+F+G)	20,699,294,898
次期繰越損益金(H)	20,699,294,898

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。